

お宝でまちににぎわいを取り戻そう！

街づくり株式会社 いちろく



社長
常村 護 さん
Mamoru Tsumemura

専務
森下 章 さん
Akira Morishita



色鮮やかに復元されたビル上部の蛇腹とスクラッチタイル

計画を変更してまで保存

智頭街道商店街の二階町交差点にある五臓圓ビルは、昭和6年に建築され、昭和18年の鳥取大震災と昭和27年の鳥取大火にも耐えぬき、今年でちょうど築80年を迎えました。

平成22年に国の有形文化財に登録、再生・保存に向けて改修が進められ、この度改修工事を終え、装いも新たにオープンしました。

智頭街道商店街が最も栄えていた昭和10〜20年代には、まちのシンボルだった市内最

古の鉄筋コンクリート建築。

「木造建築が主流だった当時、鉄筋コンクリート3階建てのモダンな建築は、さぞみなさんに驚かれたことでしょう」と話す五臓圓薬局7代当主の森下さんは、保存の話が持ち上がったところ、五臓圓ビルは物置同然で外壁の剥落などもあり、いずれは取り壊しをと考えていました。

しかし、平成19年に国の認可を受けてスタートした鳥取市中心市街地活性化基本計画が、途中から計画を変更。五臓圓ビルの保存活用を盛り込

んだり、平成21年には「五臓圓ビルを保存活用する会」が設立されたりするなど、五臓圓ビルを取り巻く環境が一変する中で、しだいに森下さんの心にも「このビルは残すに値するものかも」との思いがふくらんできました。

自信回復の特効薬

智頭街道商店街で画材店を経営する常村さんは、平成19年に同商店街振興組合の理事長に就任。鳥取市中心市街地活性化基本計画の中に五臓圓ビルの保存と活用を盛り込

だ中心人物です。

「商店街の中に、こんなお宝があったんだという気持ちです」と話す常村さんも、最初からその価値を理解していたわけではないとのこと。

智頭街道商店街が衰退し、自信を失っていく中で、自信回復につながる特効薬として五臓圓ビルに着目し、以来、五臓圓ビルを活用したまちづくりに取り組んできました。

その結果、他の商店街とも共同で取り組みがしやすくなり、しだいに自分たちの目は正しかったと確信。

《4月の番組ガイド》

.....鳥取市行政番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

- ▷インターネットショップ『とっとり市』スタート
- ▷春の鳥取砂丘一斉清掃
- ▷鳥取市消防団入団式
- ▷鳥取市の今年度の主な事業



昨年の「消防団入団式」

静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週日・月・水・木



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばびよんびよんネット

.....自主制作番組.....

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

春を迎え稲作の準備が始まった様子や、「とっとりふるさと就農舎」「子ども農業塾」などの話題をお送りします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

入学式や入園式、「もちがせ流しびな」をはじめとする各地の春のまつりの様子などをお送りします。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

鳥取市コミュニティデータ放送が始まりました！

鳥取市の行政情報や地域情報など生活に密着した情報が、地デジテレビやSTBなどのリモコンを操作することで、ご家庭のテレビで手軽にご覧いただける「鳥取市コミュニティデータ放送」がスタートしました。操作方法など詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

情報をお寄せください！

いなばびよんびよんネット TEL 0857-22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

番組の放送時間は、ホームページまたはデジタル放送の電子番組表 (EPG) をご覧ください。

<http://www.inabapyonpyon.net>



鳥取初のスタイル

昭和27年の鳥取大火で焼け残った五臓圓ビル。しかし、保存しながら活用していくことは、相当な費用がかかることから、公的な支援や募金活動などの受け皿となる「街づくり株式会社いちろく」を平成22年に設立。名前は、昭和初期、智頭街道商

しかし、保存しながら活用していくことは、相当な費用がかかることから、公的な支援や募金活動などの受け皿となる「街づくり株式会社いちろく」を平成22年に設立。

異世代が集える場に

五臓圓ビルのイベントには、懐かしさに、お年寄りがたくさん集まるかと思ったら、いつも若者の方が多いとのこと。「若者を魅了する何かがこのビ

店街が「一六会」と呼ばれ、毎月、1と6の付く日に市が立っていたことに由来します。智頭街道商店街が、どの商店街よりもにぎわっていた古き良き時代の再来を思い描く常村さんは、「こういうスタイルは、これまでの鳥取にはなかった」と胸を張ります。

ルにあるのかも」と森下さんは言います。2人は、今後、五臓圓ビルを、若者とお年寄りの異世代交流の場にしたいと考えています。

1階は、薬局本来の役目である癒しとくつろぎを提供する場、2階は直営のカフェとギヤラリー、3階はものづくりの工房など、若者から高齢者まで集い、文化と情報発信の拠点として再生したいと。そして、あとは、五臓圓ビルを訪れる人に商店街を歩いていただく演出が必要と感じています。

一方、4月14日には、市営片原駐車場がリニューアルオープン。五臓圓ビルへのアクセスが向上することから、常村さんと森下さんのまちづくりは、まだまだ休めそうもありません。

鳥取大震災や鳥取大火を乗り越え、そして、まちを愛する2人の強力なリーダーシップで生まれ変わった五臓圓ビルは、昭和の生き証人として、今後も凛と、まちに希望の明かりを灯し続けてくれることでしょう。